

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年10月12日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100113
法人名	医療法人 木村外科内科
事業所名	グループホーム きむら
所在地	鹿児島県鹿児島市石谷町2105番地3 (電話) 099-278-0058
自己評価作成日	平成24年9月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年9月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 高台に位置しており、景観が良く、四季を感じながら利用者の方と職員が和気あいあいと生活を送っている。地域の方々が見学に来られた時も景観に感動される。
- スタッフ間も隣のユニットと助け合い、協力し合える環境作りができていて、入居者様に対して、気持ちや思いを汲み取り寄り添うケアを行っている。
- 同敷地内に、24時間、緊急時対応の医療機関が隣接しており、利用者やご家族に安心して頂けるよう努めている。
- 関係機関、民生委員、ボランティアの方々の協力を頂き、地域との交流ができる。
- 地域に根差した施設を目指している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、母体医療機関が設立し、同敷地内に有料老人ホームと通所リハビリテーション事業所もある。健康管理面での支援体制が整っているので、利用者や家族にとって安心できる環境である。
- 周囲に学校や公民館・ショッピングセンターなどがあり、日常生活に利便性が高く、地域住民とふれあいながら生活できる環境にある。
- ホームは、町内会に加入し地域との交流も積極的に進めている。また、火災発生時には、拡声器で地域住民へ協力の呼びかけがなされる体制が築かれている。
- 代表者や管理者は、職員の意見や提案を積極的に把握し、運営に反映させるように努めている。管理者や職員は、今までの家庭や地域での暮らしが継続できるように対応するとともに、ケアのさらなる向上をめざしている。
- 利用者の生活の中で、食事が楽しみなものになるような献立を提供とともに、誕生会や正月等の各種行事に際しては、好みの料理など、特に工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り、入職時には必ず、理念を理解してもらうようオリエンテーションの中に入れ込んでいる。又、玄関・和室・トイレ等に掲示して、常に目に入ることで意識付けをしている。全体ミーティングの時間に全員で理念を唱えている。	地域密着型の意義を職員全員で確認し、独自に作りあげた理念である。理念は施設内の目立つ場所に掲示し、ミーティング等で唱和し、具体的なケアについて話し合い意思の統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会し、回覧板が、回ってきている。そのつながりで敬老会への参加も出来た。バーベキュー大会・野菜ボランティア・民児協ボランティア・地域ボランティアを通して、地域の方々との交流を図っている。	ホームは、地域住民と行事参加等の相互交流を行うと共に、町内会に加入し、ホーム便りや回覧板等で地域との情報を交換し、交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成のため、実習生の受け入れを積極的に行っている。 (中学生職場体験学習の受け入れ等)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度の実施をしており、各ユニットから1名づつご家族の参加や公的機関の方をお呼びして、意見や要望を頂いたり、各分野からの講話をいただいている。全体会議で報告を行い、ホーム便りにも掲載して周知徹底できるようにしている。	会議は、利用者や家族も交代で参加し、定期的に開催している。外部評価の報告や事業所の情報を報告し、出会者から理解と協力を得ると共に、そこでの意見をサービス改善につなげている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	年1回の介護相談員・生活保護員の受入れにより、その中で入居者様からの要望を受け止め、生活支援に取り組んでいる。地域包括支援センター職員の会議への出席もあり、相談できる関係を築いている。	市の担当者とは、日頃から広範囲にわたって連携を保っている。生活保護の担当者とも細かに連携を図っている。地域包括支援センターの職員は会議に出席したり、また、市の介護相談員を毎年受け入れる等、より上質のケアサービスのためのアドバイスをもらったりして相互の協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束排除宣言を掲げ、勉強会を開催し意識を高めている。 (職員トイレに掲示) 日中、玄関・非常口の施錠は行っていない。お一人身体拘束されている方がいるが、3ヶ月毎に身体拘束委員会を開催して、説明および同意をもらい、見直しを検討している。毎月の検討見直しも行っている。	「身体拘束排除マニュアル」を基本に勉強会を実施し、職員の共通認識を図っている。昼間の玄関は施錠していない。外出希望の利用者には、職員が付添って散歩する等対応して、自由な暮らしを支援している。事故防止のための身体拘束についても、拘束の弊害について家族に充分に説明し、同意書をもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。	ホーム内で、法律を含めた勉強会を行い、高齢者虐待防止について意識を高め、防止に努めている。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	ホーム内で勉強会を行っている。成年後見制度を利用して支援していた。必要時には、対応していく。			
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、重要事項説明書及び運営規定等、充分に説明を行い、質問事項に対しても、丁寧に対応している。解約時も十分な話し合いを持ち、ご理解いただけるようにしている。			
10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時、ご家族と話す機会を作っているほか、面会簿に要望等を記入する欄を設けて、ご家族が意見、要望を表しやすいよう工夫している。出された意見等は、早急に検討して改善策を実施して報告している。玄関に第三者委員の名簿を掲載している。	日頃から、利用者や家族には、何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。出入り口に意見箱を設置したり、面会の時に意見を聞く機会を作ったりしている。出された意見や要望等は、職員会議で話し合いケアに反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	月1回の全体会議の中で、職員一人ひとりから業務内容やケアの方法など、発表の場を設け情報共有や改善またサービスの質の向上を繋げ、職員の意見の反映に努めている。報告書・会議録・申し送りノート等、情報を共有するために全員に確認印を押している。	管理者は、会議やミーティングの時に職員の意見や提案を聞く機会を設け、コミュニケーションを図っている。職員の相談には、個別に聞き、適切にアドバイスをしたり、面会簿のカード式も職員の提案で実施、運営に反映している。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	介護職の研修案内を呈示し、研修受講を遂行している。全体会議の中で、計画的に、勉強会を行っている。行事に必要な人員の補充を行っている。又、勤務の交代も柔軟に対応している。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	入職時にオリエンテーションの記録報告書記入や行事・全体会議の報告書記入し、提出する流れを確立している。年間計画を立て、月1回 勉強会を実施している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	G H協議会・地区の勉強会に参加し、情報交換・勉強会の場になっている。現場に持ち帰り、全体会議の中で勉強会をし、サービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

## II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回相談から、ご本人・ご家族の面談の機会を大切にし、その方の心身状況をいち早く察知し、よりおおくの情報収集を行い、理解できるように努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の見学対応や面談を通して、相談内容や背景をいち早く把握し、理解できるように努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な利用者には、柔軟な対応を行っている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であることを念頭に、行事の飾りつけ（正月・月見等）や季節の料理（梅干し・ラッキョウ・たか菜の漬物・五汁・ちまきづくり等）や野菜作りの知恵等多くのことを教わっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	面会時やお手紙で、利用者の近況を報告し、外出・外泊の支援を頂き、ご家族と協力して支援している。他科受診では、必要な時は同行している。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	地域の方のボランティアや、理・美容の活用をしている。近隣・馴染みの方・民生委員の面会時、居心地の良い雰囲気作りに努めている。又、地域行事に参加し交流ができている。	地域で暮らす馴染みの友人が訪ねてきたり、行きつけの理・美容院などとの関係を継続できるよう支援している。家族の協力も得て、外食や墓参も行っている。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	テーブルの配置換えやトラブルが発生したときには、すぐ中に入り、関係の調整を図ったり、お手伝いをお願いして気分転換を図り、楽しく過ごせるよう努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	退去後もご本人の様子を伺うお手紙の同封や、機会があれば直接面会に伺っている。担当のケアマネさんへの情報提供や連携の強化を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の生活の中で、常に声掛けを行い話を聞くようにしている。又、その方の言動や表情を良く観察し、情報は職員間で共有し思いを汲み取るように努めている。</p>	<p>日常の関わりの中で様子をobservationし、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。本人の要望に沿って家族との外出や家族への電話等の支援をしている。把握が困難な場合、利用者の視点に立って職員間で話し合い、本人本位に支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族からの聞き取りを十分に行い、関係機関との連携を図るなどを行い、多くの情報を得て利用者の理解に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者の習慣・特技・身体状況を把握し、職員と共に出来る範囲の家事活動・作業に取り組んでいる。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>必要時カンファレンスを行い、問題解決への方向性を共有している。日々の生活記録より、モニタリングを行い、介護計画を作成している。</p>	<p>本人および家族や職員で、担当者会議を行い介護計画を作成している。1ヶ月ごとに、介護記録やカンファレンスでの意見に基づいてモニタリングを実施し、3ヶ月ごとに見直しを行っている。また、職員全体でカンファレンスを行い情報を共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、利用者の状態変化などを記録し、記録を元に評価を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やご家族の状況に応じて随時対応し、柔軟な対応・協力体制に取り組んでいる。（外出・外泊）		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアと交流をもち、野菜ボランティアの方と一緒にに行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院は、利用者ご家族との希望に応じ、代弁を含む支援を行っている。近隣の歯科医との連携も取れており、往診可能である。医療連携で看護師の訪問時に相談し、即時、医師の回答を得ている。	本人や家族の希望しているかかりつけ医の受診が、継続できるように支援している。協力医療機関の往診もあり、連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。家族の希望によるその他の通院も支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ホーム看護師や医療連携看護師に状況報告や医療面の報告をし、対応の仕方や指導を受けながら利用者に対応している。			
32	○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の状況把握のため、病院訪問を行い、情報交換に努め、病院から直接ホームへ帰居出来るように取り組んでいる。帰居された後も、医療チームと連携を図り、情報を共有し取り組んでいる。			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	身体状況の変化があれば、その都度報告し、重度化の場合は、終末期ケア対応に沿って、対応している。医療機関が同敷地内にある事もあり、重度化終末期には入院となる事がある。	入所時に、事業所としての終末期や重度化の対応について、指針を家族に説明し、同意書をもらっている。状況変化に応じ、繰り返し話し合い、随時意思を確認している。医療機関との連携を図りながら、希望に添えるよう終末期に向けた支援を行っている。		
34	○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホームにAEDが設置しており、年1回専門業者による講習が有り、全職員が対応できる。急変や事故発生に備えた勉強会を行っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回は消防署の協力を得て避難訓練（昼・夜）・避難経路の確認・消火器の使い方等の訓練を行っている。地域の方の助言により、各ユニット内に拡声器の設置を行っている。	年2回の消防署の指導のもと、マニュアルに基づき、昼夜間想定の避難訓練を実施している。また、独自の訓練も行い、拡声器で地域住民へ協力の呼びかけを行っている。備蓄については、備蓄の内容を検討中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入職時、オリエンテーションで、個人情報保護についての研修・誓約書の捺印をもらっている。注意を促す際、尊厳を持って対応している。年間計画の中で、勉強会を実施している。</p>	<p>入浴やトイレ介助時等は、「羞恥心・プライバシーマニュアル」に則って、利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながら、さりげないケアや言葉かけに努めている。職員の採用時、個人情報保護についての誓約書をとっている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>自己決定がしやすいように質問形式で、声のトーンに気をつけ、優しい言葉かけで、自己決定を促している。言葉かけや筆談等で自己決定を促がしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の言動・行動を優先しながら、個別的に支援を行うようしている。(食事や入浴の時間をずらしたり、散歩やレクの時間をずらしている)</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>整髪は、個々の状況に合わせて、出張の理・美容を利用している。入浴前や起床更衣の時、職員と一緒に着たい洋服を準備している。一緒に準備できなかつた方も確認していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を行い、希望があればメニューの変更をし、行事・季節に合わせ献立を立てている。レベルに応じて、野菜の下ごしらえを行い、調理の際は、彩り・盛り付けなどに配慮し、会話を楽しみながら一緒に食事を摂っている。	利用者と一緒に菜園で採った食材を使い料理したり、季節の行事や誕生日には、利用者の好みの料理を取り入れている。職員と利用者が共に食卓を囲み、食事が楽しくなるように声かけ等をして、工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食事の摂取量の把握と記録を行い、病的疾患による食事内容やカロリーを把握し提供できている。食欲低下の方には栄養補助食品を併用している。水分は、入浴後、10時・15時のお茶、服薬時を含め、飲んで頂けるよう声かけが出来ている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛け見守り、介助を行い口腔内の清潔が保たれるよう努めている。夕食後には、義歯を預かり消毒が出来ている。コップ・歯ブラシも昼食後毎日、消毒・乾燥し清潔が保たれている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	昼夜を通し、排泄パターン・サインの把握ができ、排泄誘導・介助が出来ている。尿意・便意のある方は、手を挙げるなどの合図で誘導を行っている。	個々の排泄パターンやサインを把握し、トイレでの排泄の支援を行っている。自尊心に配慮しながら、トイレで排泄できるよう支援し、排泄の自立を促している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	内服でのコントロール・水分摂取・適度の運動にて、便秘予防に努めている。排便チェック表を活用している。			
45 17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は、基本的に午前に取り組んでいるが、希望に応じて対応に努めている。健康状態に気を配り、できるだけ浴槽に入ってもらうように声かけ行っている。気分にムラのある方は時間をおいて誘導したり足浴を行っている。	週3回、入浴を行っているが、個々人の希望に沿って毎日でも入浴ができるよう支援している。個浴が多いが、友人同士で入浴を楽しむ利用者もいる。入浴が困難な場合には、清拭や足浴を行うなどして、清潔を保てるよう支援している。		
46	○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日課に沿って生活が営まれているが、体調に合わせ、自室で休息されたり、夜は、就寝時間を決めておらず、テレビ視聴したり、お茶を飲んで頂き、個々のペースに任せている。			
47	○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各人の服薬内容が確認できるようファイルを作成している。服薬は、3回確認のルールを作り、一人づつ手に取り、飲み込みを確認して服薬していただいている。			
48	○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方のできること把握し、役割を持っていただき、お手伝いいただいた時には、感謝の気持ちを必ず伝えている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候のよい日は、朝の時間、外気浴・ラジオ体操・散歩を行っている。畠の野菜作り収穫を行っている。ご家族の支援を頂き、墓参りや外出の機会をつくっていただいている。	日常的には、毎朝、屋内外でのラジオ体操を取り入れたり、一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、散歩や日光浴・菜園など、戸外に出かけられるよう支援している。遠方への外出は、家族の協力をもらって支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル防止の為、お金の所持している人はいない。必要時、ご家族にお願いしたり、預かり金より物品購入している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	遠方にいて中々会えないご家族には、電話をかけるお手伝いをしたり、お手紙を書くよう促している。ご自分から電話をかける方はなく、伝言をご家族に伝えている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテン・エアコンで日当たりや温度調整を行っている。季節の花・野菜・観葉植物を取り入れている。フロア内には、季節を感じるような飾り付けを心がけている。ベランダからは景観がよく、外気浴をかねて景色眺めながらお茶を飲んだりしている。	玄関入り口に観葉植物の鉢が置かれ、フロアは明るくゆったりして、採光や換気に配慮がされ、利用者のスナップ写真等が貼付してある。堀こたつのある和室も設けてある。ベランダからの景観がよく、花火大会も楽しく見物できる等、日常の暮らししが居心地よく過ごせるように工夫されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングや和室で各人が思い思いに、安全に過ごせるように、配慮している。			
54 20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	好きな絵や写真・家具・ぬいぐるみ・使い慣れた寝具類など、ご本人の好きなものを活かし、居心地良く生活できるよう工夫されている。身体状況に合わせて、ベットを配置している。	備え付けのベッドやタンスのほかは、家族の写真やテレビ等の馴染みの物が持ち込まれ、居心地よく生活できる工夫がなされている。希望者には、夜間にポータブルトイレを置くようにしてある。全体的に電動ベットが設置され、利用者の負担軽減が配慮されている。		
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、全てバリアフリーで、車椅子の方も安全に自走されている。自力歩行の方も、要所に、手すりが設置されており、又、トイレは自動照明で、安全確保に努めている。			

## V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全部面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない